

舞や謡 授業で能体験

府中の南小 10月初舞台



大島文恵さん（左端）、紀恵さん（右端）から小鼓の打ち方を学ぶ児童

府中市用土町の南小で26日、能の体験学習がスタートした。6年生40人が、福山市の喜

多流大島能楽堂の能楽講師から継続的に舞の型や謡を教わる。初日は大島文恵さん

（31）、紀恵さん（28）姉妹が訪れ、児童は笛や太鼓の演奏方法などの指導を受けた。謡に合わせて見せどころを舞う略式の「仕舞」も鑑賞した。

伝統文化などを学ぶ6年生の社会科と関連付け、10月までの総合学習の時間計16コマを活用。中国の伝説を題材にした「西王母」の練習を重ね、同月末から市内である生涯学習

フェスティバルで発表する。

広重美奈さん（11）は「難しそうだけど、しっかり勉強して良い発表にしたい」と張り切っていた。（松本恭治）

09/06/27 中国新聞

back